

着任のご挨拶



バイオサイエンスコ

准教授  
叶奈緒美

皆様、初めまして。2022年12月1日付けで山形大学農学部食料生命環境学科バイオサイエンスコース食品機能学分野に准教授として着任いたしました、叶奈緒美（かのう　なおみ）と申します。この場をお借りして、ご挨拶申し上げます。

私は、香川県立丸亀高等学校を卒業後、岡山大学農学部に入学し、学部3年生後期に配属された食品生物化学研究室でそのまま研究を続け、2016年に科学研究院で農学博士の学位を取得いたしました。

着色に関する研究に取り組んでおりましたが、山形県は置賜を中心にデラウェアの大きな生産地であり、また庄内柿も有名な特産物になっていますので引き続き研究に取り組めばと考えております。私自身農家の出で、リンゴやセイヨウウナシ、サクランボの収穫を度々手伝い(手伝わされながら育ってきましたが、その生産の難しさや苦労にどう向き合い改善していくのかといったことは長らく興味を持つて研究にも取り組んできました)果樹王国として知られる地元山形に帰ってきて、こゝうした馴染み深い果樹類の研究を通して果樹生産への貢献や興味深い科学的な発見につなげていきたいと考へております。またこれから学生教育への関わりもどんどん増えていく立場にあり、果樹生産や園芸生産に関わる分野で活躍する卒業生を山形はもちろん全国に送り出していけるよう気持ちを引き締めて取り組んでいきたいと考えております。

—着付のご指導に寄せて—  
—鶴岡とのご縁—



## — 鶴岡のご縁 —

初めて鶴岡を訪れたのは2010年秋、メタボローム・シンポジウムでのポスター発表参加が契機でした。当時研究対象であつたエゾノギシギシがどこにでも生えていて実験材料に困らない!といつ歓喜でした。また、羽黒山の参道を上つていたら中腹の茶店のご夫妻から「先生」と呼ばれていた常連の親切な方(誰?)に南谷など参道以外も案内してもらい、満開のコウホネ群落に感動したことがあります。

4年後、国際学会(Metabolomics 2014)のため再び鶴岡に。当時農学部にいらした某先生と打合せも

## 「着任のご挨拶」



方外ノサムニシテ

2021年11月1日より  
農学部食料生命環境学科  
アグリサイエンスコース(食農  
総合科学分野)に助教として

「着任のご挨拶」



アグリサイエンスコード

A portrait of a young man with dark hair, smiling slightly. He is wearing a dark suit jacket over a white shirt. The background is blurred, showing what appears to be an indoor setting with warm lighting.

着任てきて何て幸  
ふうと実感する今  
です。最近、運転免  
引し、もうすぐ納車  
行動範囲が広がり、  
シゲはもちろん、社  
などにも打ち込め、  
失した日々を送れそ  
こもどうぞよろしく  
以上に励みますの  
無論、研究・教育等、  
基盤・健康・栄養研究所、  
ハーバード大学公衆衛生大  
学院で研鑽を積み、201  
8年に博士号を取得しま  
した。私は、「健康的な食生  
活を無理なく継続いただく  
ことで疾患予防に寄与し、  
医療費等を削減すること」  
に関心があり研究を進めて  
きました。学位取得後は、  
プロの料理人を育成する教  
育機関である、辻料理教育  
研究所にて、実店舗を舞台に、  
人々に望ましい行動をそつ  
と促すナッジと呼ばれる方  
法を用いて、買い物の段階  
から食行動を変容させる  
仕組みの開発に取り組みま  
した。開発しているうちに、  
今後、食料不足が懸念され  
ていることを耳にし、健常的  
な食生活を促す仕組みを開  
発しても、野菜や果物が足  
りないので本末転倒だと  
感じ、モヤモヤしていました。

着任しました。五領田小百合と申します。この場を借りて着任のご挨拶を申し上げます。

私は、東京医科歯科大学 大学院の疾患予防科学コースの博士課程に入学後、在学中に国立開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所、ハーバード大学公衆衛生大学院で研鑽を積み、2018年に博士号を取得しました。私は、「健康的な生活を無理なく継続いただくことで疾患予防に寄与し、医療費等を削減すること」に関心があり研究を進めてきました。学位取得後は、プロの料理人を育成する教育機関である、辻料理教育研究所にて、実店舗を舞台に、人々に望ましい行動をそつと促すナッジと呼ばれる方法を用いて、買い物の段階から食行動を変容させる仕組みの開発に取り組みました。開発しているうちに、今後、食料不足が懸念されていることを耳にし、健康的な食生活を促す仕組みを開発しても、野菜や果物が足りないので本末転倒だと感じ、モヤモヤしていました。

17 着任のご挨拶

で、学生さん達と学ぶことの楽しさを共有し、共に向  
上心を持つて成長できるよう努めて参ります。

農学部食料生命環境学科  
アグリサイエンスコースに准教授として着任しました。どうぞよろしくお願い致します。

私は山形県天童市の出身で、幼少の折より親に連れられたり、部活動の大会で訪れたりと、鶴岡や庄内にも度々足を運んでおり馴染みがありました。しかし、高校卒業後は東北大學農学部・農学研究科へと進学し2017年11月から前職島根大学生物資源科学部助教を経ており、久しぶりに山形の地に住もうことになりとても懐かしく想つております。

私は果樹園芸学研究室の准教授として着任しておりますが、研究キャリアの一歩目として大学で取り組んでいた研究は光による切花の開花制御でした。その後、トマトの光応答の研究、セイヨウナシの環境応答やリンゴにおける花芽形成機構などの研究にも取り組んでおりました。島根大学ではブドウ品種データウェアを用いた研究や柿の

着任のご挨拶 16

